



NPO法人

フィリアの会

Vol. 6

2015年10月 発行

旧: 碧海5市・岡崎市に身体障がい者入所施設をつくる会

新フィリア通信

発行元: NPO法人 フィリアの会
連絡先: 〒446-0027 愛知県安城市東明町10-12
Tel&Fax 0566-77-7331
編集担当: 西田, 細川

フィリア (友愛・ギリシア語)

人は一人では生きられません。人はみな、お互いに助け合い、生かしています。障がい者はこのことを忘れないように存在するのかもしれませんが。障がい者が元気なら、その地域が元気の証拠です。人の輪があるのです。私たちはこの地域の福祉に消えることのない希望の炎を灯すため活動しています。

理事長 あいさつ

念願の事務所開設です!



フィリアの会 理事長 本田桂吾

念願の事務所をようやく借りることが出来ました。課題は山積し、不安もありますが、何もしなければ前には進みません。ひとまず皆さんに事務所に足を運んでいただいて、共にこの喜びを共有したいと思います。また、これまでご支援してくださった方々に感謝をし、これからの意気込みをお伝えできればと思っています。そのためにささやかなイベントを企画

させていただきました。地域住民への理解や支援者へのおもてなしなど、有意義な機会にしたいと考えています。スケジュールが厳しくなり大変申し訳ありませんが、万障繰り合わせてご参加いただきたいと思います。これまで共に手を携え歩んできた皆さんと、今後もさらに強力なスクラムを組み躍進したいと思います。

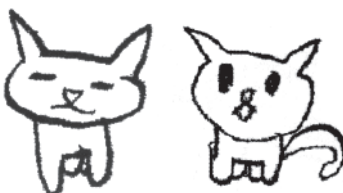
平成27年度寄付金報告

遠入美智子様、藤井めぐみ様、高田洋子様、今泉真由美様、内田けさよ様、
安藤ふみこ様、医療と福祉を考える会様、山本達也様 (秀武館) 様、本田桂吾
一般寄付 (デンソーグループハートフルまつり、七夕まつり、七夕まつり)

※順不同

寄付総額

302,505円



ご寄付いただき、
ありがとうございました。



活動報告

4月
4(土) 事務会議
11(土) 総会
16(木) 講演 安城南ライオンズ
25(土) わははハンディーズ制作会議
29(水) 臨時理事会

5月
2(土) 事務会議
9(土) 理事会
10(日) 講演 立正佼成会
30(土) 臨時理事会
31(日) わははハンディーズ制作会議

6月
6(土) 事務会議
7(日) わははハンディーズ制作会議
8(月) フィリアフェス打ち合わせ
13(土) 理事会
26(金) 臨時理事会
27(土) わははハンディーズ制作会議
秀武館寄付金贈呈

7月
4(土) 事務会議
5(日) デンソーハートフルまつり
11(土) 理事会
26(日) わははハンディーズ制作会議

8月
1(土) 理事会
7(金) セタまつり
8(土) //
9(日) //
27(木) フィリアフェス打ち合わせ

9月
5(土) 理事会
7(月) 中日新聞記事掲載
12(土) 第4回フィリアフェスティバル
13(日) わははハンディーズ制作会議
18(金) はあとふる基金調査
26(土) 臨時理事会
27(日) コミティア

10月
3(土) 事務会議
10(土) 理事会

今後の活動予定

10月
31(土) 事務所開き

11月
7(土) 事務会議
14(土) 理事会
28(土) きーぼー市

12月
5(土) 事務会議
12(土) クリスマス交流会

2016
1月
9(土) 理事会

2月
6(土) 事務会議
13(土) 理事会

3月
5(土) 事務会議
12(土) 理事会

4月
2(土) 事務会議
9(土) 2016年度総会





2015年度総会



2015年度総会



2015年度総会



安城南ライオンズ



立正佼成会



秀武館寄付進呈



安城南ライオンズ



立正佼成会



秀武館寄付進呈



デンソーハートフルまつり



七夕まつり



福祉まつり



デンソーハートフルまつり



七夕まつり



福祉まつり



フィリアフェスティバル



フィリアフェスティバル



フィリアフェスティバル

草の根 最前線

西三河地方の重度身体障害者を受け入れる施設の開設を目指し、障害者の実情を訴えて支援を募っている。筋肉が徐々に衰える進行性筋ジストロフィー患者の本田桂吾さん(三宅)＝安城市東明町＝が、障害者らと二〇一三年に設立した。

本田さんは小学一年の時に筋力が衰え始め、三年で車いす生活になった。今は人工呼吸器も使う。食事やトイレなどには介助が必要。夜中も二時間おきに体位を変える必要があり、ここでも介助が

施設建設へ支援を募る



「わははハンディーズ」に目を通す本田桂吾さんと恵美子さん＝安城市東明町で

【メモ】会員は身体障害者や知的障害者、家族、支援者など約100人。「フィリア」はギリシャ語で「友愛」を意味する。正会員は年会費3000円、賛助会員2000円。理事長の本田さん＝0566(77)7331

当面はヘルパーの介護で障害者が日中過ごせる施設の建設を目指す。最終的には二十四時間体制の施設を造る考えだ。本田さんは「障害者が安心して暮らせるまちにしたい」と訴える。

(重村敦)

NPO法人フィリアの会(安城市)

欠かせない。介護事業者のヘルパーに来てもらっているが、それ

も母恵美子さん(六三)の負担は大きい。「親が倒れたらどうすればいいのか。そんな悩みを抱える障害者

は多い」と本田さん。施設の建設を行政に要望しても実現しそうにないため、自分たちで動くことにした。

地域の祭りで手作りパジャマや古本を販売したり、チャリティーコンサートを開いたりして、障害者の現状を紹介し、寄付金を集める

徐々に企業が支援してくるようになり、事務所を今月開く。会員の一人は「自分が携わっていることが少しずつ前進しているのが、うれしい」。

結ぶ響



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2015年(平成27年)
9月7日(月)

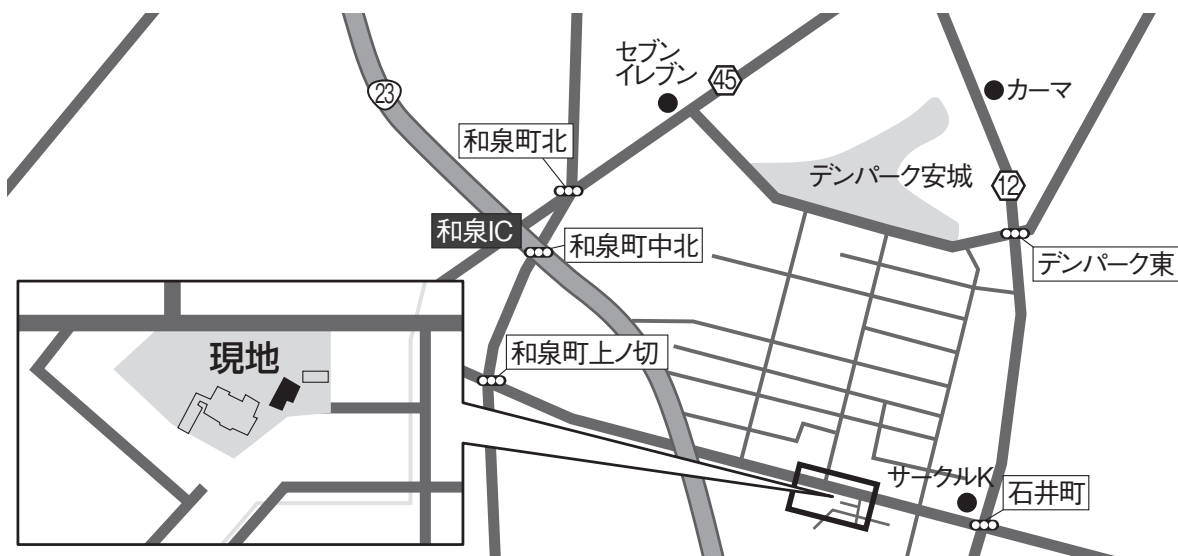
Sugiyama
椋山女学園大学
オープンキャンパス
9/1
9:30
星

事務所開設のご報告

9月15日、改装工事が終わり、フィリアの会の事務所として使えるようになりました。まだベットと昇降機ぐらいしかありませんが、今後ココを拠点にした展開を想像すると夢が膨らみます。生活介護をココでやりたいと想いを新たに、地道にやって行きたいと思えます。



〒444-1221 安城市和泉町中根山6



コラム 「サッカー馬鹿のつぶやき」

本田桂吾

第1節 スティーヴン・ジェラード選手について

物心が付いた頃、僕は浜松に住んでいました。静岡県はサッカーが盛んな地域で、よく近所のお兄さんとサッカーボールを蹴って遊んでいました。アルゼンチンのマラドーナ選手が活躍していた頃のことです。そんな訳でサッカー大好きな僕がサッカーの魅力について書いていきたいと思えます。

今回は1980年生まれ、イングランドのレッド・ドラゴンことスティーヴン・ジェラード選手について少し触れてみたい。彼について語るにはある事件を語らなくてはならない。1989年に起きたヒルズボロの悲劇のことである。詰め込み状態の立見席にいた96名がフェンスに押し付けられ圧死した。イングランドのサッカーにとって最大の悲劇の犠牲者の最年少の少年は、何とジェラードのいとこだったのだ。この事件はリヴァプールFCの試合で起きた。その影響からか彼は、1998年にリヴァプールFCでデビューし、15シーズンを過ごし、チームに貢献した。たいていの選手は数年でほかのチームへ移籍するが、彼はすべて断り留まる道を選んできた。そして、選手としてピークを過ぎた彼は、昨シーズンアメリカへの移籍を発表した。彼はあの悲劇は自分とこのチームにとって重要だと語る。「あれ以来僕らは団結してきたし、辛いときに共に仲間を大事にするのがうちのクラブなんだ」

サッカー選手の夢はかなわなかった僕ですが、違う形で彼のようになりたいと思えます。